

2017年 プログラム近況報告

カンボジア ポニャー・ルウ地域開発プログラム

ご支援により ポニャー・ルウ地域の 子どもたちの生活が改善しています

ご支援により地域の子どもたちと家族の生活が大きく向上しました。心より感謝申し上げます。今年の最大の成果は、より多くの若者たちに地域の様々な改善活動に参加するよう働きかけながら、若者のリーダーシップ・スキルを強化できたことです。

一方で、多くの若者が家族を支えるために都市へ出て働かざるを得ず、教育課程を修了できないことが、この地域にまだ残る最大の課題です。皆さまからのご支援により、地域の子どもたちがより幸せに過ごせるよう、これからも努力してまいります。



ポニャー・ルウ地域開発プログラム マネージャー

ダラ・トーン

ポニャー・ルウ地域での主な成果



チャイルドの絵「わたしの地域」
(リークスメイ、17歳)

健康状態が改善しました

子どもたちの栄養状態が改善し、健康に成長しています。低体重の子どもたちが健康に育つことができるよう、栄養価の高い食事の作り方を教える栄養指導を行い、24人の母親が参加しました。また、保健センターのリーダーが毎月健康に関する説明会を開催しており、52村の保健支援グループに対して情報提供を行いました。

教育を受けました

子どもたちの学習環境が改善しました。3つの学校支援委員会が、学校施設改修のための資金を地域内で調達した結果、1,200人以上の生徒が新しい運動場と校庭を使えるようになりました。また、地域の幼稚園に新しいトイレが設置され、65人の幼児がトイレの使い方を学んでいます。



チャイルドの絵「将来の夢」(ナヴィ、13歳)

地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

子どもたちが暮らす地域が以前より安全になりました。村ごとに組織された6つのモニタリング・グループのメンバーが、約220人の子どもたちを毎月訪問し、健康と教育の状況を確認しています。また、女性と子どものための3つの委員会の機能を強化し、家庭内暴力と児童虐待防止に関する研修や、報告事例への対応を行えるよう支援しました。

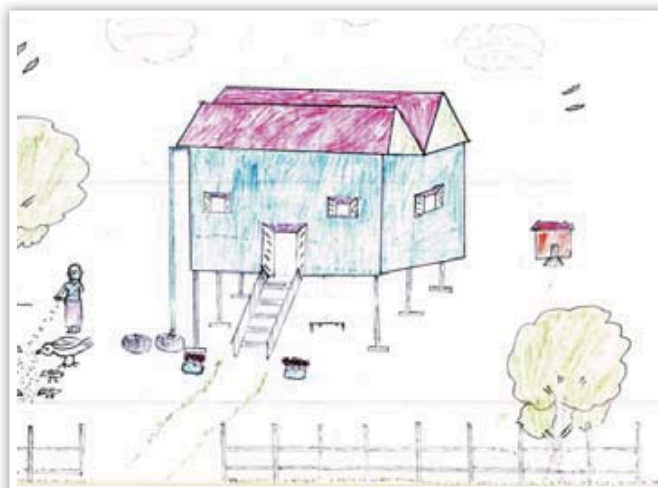


チャイルドの絵「わたしの家」(ペン、14歳)

価値ある存在として尊重され愛情を受けました

若者がライフ・スキル*を学んでいます。平日に行われている子どもクラブで、324人の子どもたちが、人間関係、平和構築、衛生習慣について学んでいます。また、地域の中で活躍できる若者の育成を目指して、23の青少年グループが、若者たちにリーダーシップやコミュニケーション能力、コンピューター技術の習得を支援しています。

*問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術



チャイルドの絵「地域の家」(ソク・エン、13歳)

「以前、子どもたちは放課後に両親と一緒に水田に行っていました。今は子どもクラブがあります。私は子どもたちに算数を教えています。」

リークスメイちゃん
(16歳、写真手前)



「学校をやめてから、私には仕事がありませんでした。でも野菜栽培の研修に参加したおかげで、収入を得て家族を支えられるようになりました。」

チャンティさん
(若者のリーダー、写真手前)

「ぼくが小さい頃、お母さんがおかゆを作ってくれることはありませんでした。でも栄養指導を受けてからは、健康に良い食事を作ってくれます。また、弟への食事の食べさせ方も教えてくれました。」

ピアラ君(12歳、写真右)



「以前、母親たちは栄養について無関心でした。でも粘り強い努力の結果、栄養の重要性を理解してくれました。今では毎週日曜日に野菜を持ち寄って一緒に料理をしています。」

ブンタさん(村の保健グループリーダー、写真中央)



チャイルドの絵
(ブナ、16歳)

家族のためにはぐくむ 明るい未来

「かつて私は貧しい農民でした。長い間私には子どもたちを養えるだけのお金がなく、その日暮らしてでした。日雇いの仕事で得る収入が主で、子どもたちは学校に行くことができず家で過ごしていました」と語るのは農民のヤンさんです。

「その後、私はワールド・ビジョンの家庭菜園と家畜飼育の研修に参加しました。新しい技法を教わり、自分でもやってみようという気になりました。なるべく多くの時間子どもたちのそばにいられるよう、家の近くで野菜を栽培するように勧められました。私は家のそばに小さな土地を借りて、ササゲ豆とキュウリを育て始めました。

今は、一番下の妹が学校に通えるよう支援しています。2人の息子たちはライフ・スキルを学ぶコースに参加できるようになりました。私の生活は幸せと喜びに満ちています。そして野菜の栽培によって十分な収入を得ています。」



栽培しているササゲ豆の畑を見せてくれるヤンさん。野菜の栽培方法についての研修を受け、子どもたちの教育費を払えるようになりました

お問合せ先
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
電話: 03-5334-5351 (平日9:30~17:00)
e-mail: dservice@worldvision.or.jp
ホームページ: www.worldvision.jp






プログラム番号 CAM-182126

カンボジア ポニャー・ルウ地域開発プログラム (CAM-182126)
2016年度 (2015年 10月1日ー2016年 9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	24,011,960
前期からの繰越額	-1,334,132
プログラム支援額合計	22,677,828
プログラム支出額	
教育プロジェクト	6,191,113 ●
保健衛生プロジェクト	4,689,366 ●
子どもの安全プロジェクト	983,797 ●
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	10,222,476 ●
プログラム支出額合計	22,086,752
次期繰越額	591,076

活動内容

- 
教育プロジェクト
 - ・就学前教育の普及
 - ・初等教育の質向上
 - ・保護者の収入向上
- 
保健衛生プロジェクト
 - ・5歳未満の子どもとその母親の健康(栄養改善含む)に関する啓発活動
 - ・保健センター運営委員会との定期ミーティングを通じた保健サービスの改善
 - ・村落保健支援グループへの能力強化研修
- 
子どもの安全プロジェクト
 - ・児童保護に関する地域住民および子ども自身への啓発
 - ・児童虐待の予防と対処のための青少年グループ・教師グループの組織化
 - ・行政機関との定期ミーティングの開催
- スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト**
 - ・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
 - ・チャイルドの定期的なモニタリング
 - ・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
 - ・「子どもクラブ」の活動